

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。
情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	急性腹症に対する診断・治療に関する観察研究
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤克人
研究責任者	金沢医科大学病院 一般・消化器外科 岡本 浩一
研究参加拒否 申込受付期間	2024年3月31日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いたします。
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2024年8月31日
対象者	2010年4月1日~2023年8月31日までの間に、当院一般・消化器外科を受診された急性腹症の患者様。ただし、手術が必要だった患者様は術後30日が経過している患者様を対象とする。
当該研究の意義・ 目的	背景： 金沢医科大学病院一般・消化器外科は、石川県内外の緊急を要する急性腹症（消化管穿孔、急性腹腔内炎症性疾患、消化管閉塞、悪性腫瘍、外傷など）の診断ならびに治療に関わることが多い拠点病院・診療科であることから、急性腹症の治療に関わる最新の知見を提供し続ける必要があると考えられる。 目的： 本研究の目的は、当科を受診した急性腹症患者における診断、治療内容、その後の治療経過と成績を後方視的に解析することで、急性腹症の適切な治療方針を策定する上で有用となる知見を得ることである。 意義： 当科を受診した急性腹症患者における診断、治療内容、その後の治療経過と成績を後方視的に解析することで、提供した治療の妥当性を評価し、将来の急性腹症患者の治療に有益となる因子や治療法を模索できる。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	研究方法 急性腹症において治療成績に影響する因子に関する後方視的探索的検討を行います。 電子カルテから以下のデータ項目を収集されます。 収集データ項目：年齢、性別、病歴、既往歴や手術の治療歴、副作用や合併症等の発生状況、予後、血液検査データ（赤血球数、Hb、Ht、白血球数、血小板数、CRP、AST、ALT、LDH、 -GTP、ALP、CK、AMY、BUN、クレアチニン、Na、K、Cl、Ca、P、Mg、Zn、TP、Alb、PT、APTT、FDP、FDP-DD、など）、画像データ（CT、MRI、PET、上下部内視鏡検査、シンチグラフィ、など）、病理データ、診療情報、等 収集した項目について、術後在院日数、術後合併症の発生率とその種類、長期予後（選定条件で見られる期間を目途に追跡します）、各種臨床データなどを解析することで、急性腹症の適切な治療方針を策定する上で有用となる知見を探索します。 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に得られた診療情報や画像データを本研究のために使用させていただきます。研

	<p>究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。</p> <p>得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。</p> <p>この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。</p>
利用又は提供する外部への試料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはありません。
資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	<p>その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。</p> <p>金沢医科大学病院 一般・消化器外科 岡本 浩一</p> <p>住所：石川県河北郡内灘町大学1-1</p> <p>☎：(代表)076-286-3511 内線(3122)</p>

作成日： 2023年9月8日